

教育委員会 2 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和4年 2月 2日(水) 午後2時から午後3時25分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一
同職務代理者 近 藤 守
委 員 塚 田 まゆり
委 員 茅 野 理 恵
- 4 説明のために会議に出席した者
教 育 次 長 樋 口 圭 一
教 育 次 長 勝 野 学
参 事 兼
学校教育課長 上 石 秀 明
教育次長副任兼
総務課長 藤 澤 勝 彦
保健給食課長 丸 山 英 樹
家庭・地域学びの課長 小 池 秀 一
文化財課長 前 島 卓
総務課長補佐 石 坂 陽 子
- 5 書 記 総 務 課
庶務担当係長 和 田 美 香

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

連日オミクロン株による感染拡大が伝えられているが、長野県でも先月27日から今月20日まで、まん延防止等重点措置の適用を受けるということになった。市内小中学校においては、1月に入り、児童生徒の感染者数が異常な勢いで増加したため、我々もいずれまん延防止等重点措置が出るという予測の下、適用を待たず分散登校、分散教室の実施に向け準備を進めており、先月26日から、各校の実情に即した実施をしているところである。詳細については、この後の協議事項の中で説明させていただく。

第三次長野市教育基本振興計画並びに第三次長野市生涯学習推進計画、これら2つの計画案については、12月から1月まで、計画に対するパブリックコメントを行い、その結果を受けて先月28日に開催された策定委員会で御協議の上、同日に計画案の答申をいただいたところである。本日、御協議いただき御承認を賜りたい。

最後に、長野市立七二会中学校については、1月12日に七二会地区住民自治協議会の皆様、七二会小中学校のPTAの皆様から、令和5年度末をもって閉校するに当たり、円滑に移行できるよう御要望等いただいた。長野市教育委員会としても、地区の重大な決断を大変重く受け止め、できる限りの対応をしまいたいと考えている。

<協議事項>

協議1号「第三次長野市教育振興基本計画について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長副任兼総務課長が説明した。

- ・庁内会議において、特別支援を必要とする児童生徒に対して、取組を進めていることが分かるよう、施策1-3-2に「より一層」という文言を追加する。
- ・教育委員会でお認めいただければ、総合教育会議で市長が定める本市の教育の「大綱」とすることの協議、その後庁議で決定し、議会へ報告し公表していきたい。

委員 「より一層」だと、まだできていないことが多いので、今後行うと捉えられるのではないかと。「今後もその充実に努めて」とした方が良いでしょうと思う。

藤澤教育次長副任兼総務課長

当初は「より一層」という文言自体がなかったが、取組を行っており、決して進んでいないわけではないという中で、今よりも加えて進めたいという担当課の思いがある。

委員 「より充実させていく」としても良いかもしれないが、事務局に任せる。

委員 パブリックコメントを寄せたのが2名ということだが、市民が教育の在り方に対して注視していないことに危機感を覚える。今までは、どのくらいのパブリックコメントが寄せられていたのか。

藤澤教育次長副任兼総務課長

前は7名から寄せられた。

委員 この差はなぜなのか。

藤澤教育次長副任兼総務課長

お知らせする媒体にも関係があるかもしれない。また、特に12月から1月にかけてのこの時期、パブリックコメントが多くあった。前は、広報ながのに内容も記載し十分にお知らせを出せたが、今回は記事のスペースが限られてしまい、埋もれてしまったように思う。

丸山教育長

この計画に限ったことではないが、やり方や周知の方法を根本的に考えていく必要、工夫の余地がある。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

協議 2 号「長野市活力ある学校づくり～七二会の子どもたちの「新たな学びの場」について～及び長野市七二会中学校の閉校について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

樋口教育次長が説明した。

委員 来年度入学する 1 年生が、閉校により 3 年生に上がれないことについて、保護者が理解してくれていれば良いが。

上石参事兼学校教育課長

令和 4 年度、5 年度における閉校までの教育的配慮の中に、そうした部分も織り込んでいる。通学についても、3 校から選択できるようにし支援していく。

委員 保護者や地区の皆様にも、未来の子どもたちのためにとということで御理解いただけているようで良かった。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

協議 3 号「市立小中学校の感染状況及び分散登校等について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

上石参事兼学校教育課長が説明した。

・学校名など様々な情報が含まれることから、非公開での協議を求めた。

非公開での協議について丸山教育長が諮ったところ、委員一同により承認された。

よって本件は「その他」終了後、「非公開」で協議することとした。

協議 4 号「第三次長野市生涯学習推進計画について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・パブリックコメントの結果、4 名から 17 件の御意見をいただき、主な内容は民間施設やインターネットの活用、防災訓練の充実についてであった。
- ・パブリックコメント以外の意見等は市議会議員や社会教育委員からの御意見で、一部計画案を修正・追加する。
- ・長野市教育振興基本計画と同様、1 月 28 日に策定委員会で答申をいただいた。本日、御協議いただき御承認いただいた上は、庁議に諮り、公表していきたい。

委員 他の都市にはない長野市特有の生涯学習の学びというものは、30 ページに記載があることだという捉えで良いのか。

小池家庭・地域学びの課長

30 ページの記載については、スポーツ課で推進している生涯学習の部分でもあり、オリンピック施設を使用する機会やオリンピックを開催したという財産は、長野市独自の特徴の一つと考えられる。生涯学習については、文化財等を含め、市が

所有する様々な財産を活用していくものである。家庭・地域学びの課では、施設としては公民館があるが、内容について何を重点とするか常に考え計画している。どれか突出してということは難しいが、ここに記載してあるスポーツも、財産を活用した一つの生涯学習であると考えている。

委員 他市との差別化を図るためにも、長野市なら年齢を問わず、こんな生涯学習ができるという強みが説明としてあると、コロナが流行してから、市内に移住してきている人が多いので、分かりやすいのではないかと感じた。

委員 生涯学習として、「今までの長野市にある資産を生かした生涯学習の推進をする」という一言があると良いのではないかと。

委員 教育委員会には「しなのきプラン」があり、他市とは違ったことが多くあるはず。この生涯学習推進計画は優秀だと思うが、その中でもこれだけは長野市にしかできないという、資産を生かした長野らしいものを付け加えていけると良いのではないかと。

小池家庭・地域学びの課長

第三次長野市生涯学習推進計画を運用していく中で、長野らしさを出しつつ、財産を生かしながらやっていきたい。

丸山教育長

29ページと30ページの施設写真について、施設名の記載があると良い。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

協議5号「第四次長野市子ども読書活動推進計画の策定について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が説明した。

委員 計画が幾つもあって、法律が多く出てきているので、何がどの分野のものか、受け手としての大変さも感じる。国の施策の中で決めていることだが、計画の種類が多くなってきて大変だと思う。

小池家庭・地域学びの課長

重複する部分もあるので、生涯学習推進計画の中に図書館計画を盛り込むなどしても良かったかとも思う。今後考えていきたい。

丸山教育長

計画を作って終わりではなく、そのとおりに実行していくことが大事である。

丸山教育長が諮ったところ、承認された。

<一般行政報告>

報告1号「成人式の実施について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

小池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・今回実施した26館における参加率は59.5%と例年より少ない。県外に出られた方が来ることができずにいたことが影響していると考えられる。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（藤澤教育次長副任兼総務課長）
主催事業0件、共催事業0件、後援事業28件（賞状交付3件）

次回以降の日程確認（藤澤教育次長副任兼総務課長）

3月定例会 2月21日（月）午後4時から 教育委員会室

4月定例会 4月6日（水）午後3時から 教育委員会室

先の承認により非公開にて説明した。

協議3号「市立小中学校の感染状況及び分散登校等について」

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員